

「ひとと原発」上映対談会

—ひとにとって真の復興とは—



悔しい……。

原発事故によって生活基盤を根こそぎ奪われた浪江町民の多くの方が口にする言葉です。

避難指示が解除されてから4年が経ちますが、帰還率はわずか約5パーセント。

震災関連死は自殺者をふくめて約450人。実に震災前の住民の50人に1人。

この数字が示すように、自然災害とは質の違う苦難を浪江町民の方々は抱えつづけていますが、国やマスコミが唱える『復興は着実に進んでいる』という言葉の陰に、そうした実態は消し去られようとしています。

悔しい……。

この言葉の重さと深さをしっかりと受け止めつつ、『ひとにとって真の復興』を浪江町の被災者お二人のお話をうかがいながら考えてゆきたいと思います。これまでの大会や講座に参加された皆様から頂いた義援金の一部も、この映画制作の貴重な資金となりました。ご協力をいただいた皆様をはじめ多くの方々に参加していただきたく、ご案内いたします。

■日 時：2021年8月8日（日）14：00～17：00

■発信会場：労働者協同組合連合会会議室

■ 映画上映：8月7日（土）および8日（日）の2日間のみYouTubeによる限定公開（会場での上映はいたしません）

■ 対談テーマ：『ひとにとって真の復興とは』

原田 雄一（浪江町住民・NPO 新町なみえ代表
・元浪江町商工会会長）

伊藤 まり（浪江町住民・NPO法人WE21ジャパン青葉代表）

板倉 真琴（脚本家・映画監督）

長田 攻一（シニア社会学会事務局長）

□コメンテーター：野坂 真（早稲田大学）

■ オンライン参加：最大90名（会場参加はありません）

■ 参加費：無料

■ 参加申し込み方法：以下のURLまたは右のQRコードでお申し込み下さい。

<https://forms.gle/q2Yvy53bJtMosi5NA>

申込者には、映画のURL と、Zoomの招待メールをお送りします。

ひとと原発
尖られたふるさと



主 催：一般社団法人シニア社会学会

共 催：早稲田大学 地域社会と危機管理研究所

早稲田大学 総合人文科学研究センター〈現代の危機と共生社会〉研究部門